公益財団法人 文字・活字文化推進機構
NEWS LETTER
Vol.2 2021年9月24日

【実施報告】読書バリアフリーフォーラム　オンライン開催

9月5日、オンラインシンポジウム「本と多様な立場の読者をつなぐために」を開催しました。コーディネーターの筑波大学附属視覚特別支援学校教諭宇野和博さんの進行のもと、活躍の場が異なる３名のパネリストから、これからの読書支援のあり方を語っていただきました。
東京大学先端科学技術研究センターの熊谷晋一郎さんは、上肢障害当事者の立場から自身の読書困難を語るとともに、「マイノリティにとって、先人たちの言葉に触れられる文字・活字は、生き延びるうえで非常に重要」と述べ、読書バリアフリー法推進への期待を切実に訴えました。読み書きに困難のある子どもの学習支援に取り組む学びプラネット代表の平林ルミさんは、タブレットを活用した読書支援方法の実演や読み上げ機能で読書を楽しむ子どもの映像を交えながら、「子どもたちの読みたい、学びたいという気持ちを支える環境整備は大事」と伝えました。作家の丸山正樹さんは、頸椎損傷によって重い障害のある家族を長年にわたって介護してきた経験から、自身の障害観と創作の原点の関わりを語り、「作家としては一人でも多くの方に読んでもらいたい。多様なニーズに応じられたら」と、読書バリアフリーに対する考えも示しました。

シンポジウムの締めくくりには、パネリストが「視聴者へ贈るキャッチコピー」を発表。読書のサポートに関心を寄せる方々に向けて、それぞれの言葉で、読書バリアフリーへの理解と協力を呼びかけました。

◆熊谷さん **「生き延びるための読書バリアフリー」**／放っておけば死んでしまうような言葉の環境の中にマイノリティが置かれてしまっている。それをはね返すような「価値観」や「言葉」によって、ようやくマイノリティは生き延びられるというような状況がある。そういう意味では、「読書バリアフリー」は衣食住に匹敵するのでは。そうした心構えで推進していく必要があると考えている。

◆平林さん **「テクノロジーが苦手？いやいや慣れていないだけ　試しにボタンを押してみよう」**／テクノロジーが苦手という方も、慣れれば便利な道具になる。色々な機能があるということをまずは知って、試しにボタンを触ってみる、道具を試してみるという姿勢を、サポーターになってくれる方が持ってくれたら、もっと色々な方にテクノロジーが生かされ、情報が届き、本が広がっていくのでは。まずは試しにボタンを押してみて欲しい。

◆丸山さん **「読みたい人がいてこその本。でも、中には読みたくても読めない人がいる。聞いたり見たり触ったり　みんなが読める人に。それが書く人の願いです」**／私は本を書いている人間なので、読む人にいてもらわないと話にならない。当然のことだが、本そのものは、読む人がいてこそ成り立つもの。読みたいのに読めない人がいるのでは、やっぱり困る。そういう人にもぜひ読んでもらいたいという想いを込めて。

【アーカイブ映像を近日公開！当機構ホームページでのご案内をお待ちください】
聴講者からの質疑応答も交えた約100分間のオンラインシンポジウムの様子をYouTubeで公開予定です。準備が整い次第、当機構のホームページでご案内いたします。

本フォーラムは、「読書活動推進事業」の一環として、国立青少年教育振興機構の主催、当機構主管のもと開催いたしました。今回のテーマ「視覚障害者等の読書推進」のほか、今年度は「高校生に対する読書習慣向上」（詳細裏面）と、「読書習慣を確立するための支援事業」の２つのイベントを予定しています。

©Characters Culture Promotion Organization

10月5日開催予定　学校図書館図書等の整備・拡充を求める各界連絡会

10月5日 、「学校図書館図書等の整備・拡充を求める各界連絡会」を衆議院第一議員会館で開催することが決まりました。1993年以降、5年ごとに拡充されてきた「学校図書館図書整備等５か年計画」は、学校図書館の機能を充実させ、児童生徒の多面的な学習・読書活動を支え、小中学生の不読率の改善という成果を生みました。また新聞配備、学校司書の法制化など制度・政策の土台となっています。
しかし、同計画の第５次は今年度で終了となるため、立法府と行政府に対して、あらためて要望を伝えたく、表記の集会を開催いたします。詳しくは当機構のホームページをご覧ください。

【主催】 文字・活字文化推進機構／学校図書館整備推進会議
【共催】 活字文化議員連盟／学校図書館議員連盟
【と　き】 2021年10月5日（火）14：00～15：00
【ところ】 衆議院第１議員会館　B1Ｆ　大会議室

10月23日開催予定　高校生向け読書推進事業

10月23日、高校生対象の読書活動推進事業として、「最強"読書脳"決定戦！解く！TALK！」を開催いたします。参加者の高校生が「読書」に関連するクイズに挑戦するほか、読書家のクイズプレーヤーでおなじみの伊沢拓司さんに、クイズと本のつながりや、ご自身の読書体験をお話しいただくイベントとなっております。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

【主催】 国立青少年教育振興機構
【主管】 文字・活字文化推進機構
【と　き】 2021年10月23日（土）13：30～
【ところ】イイノホール&カンファレンスセンター

オンラインの配信はございません。
また、高校生限定のイベントとなります。

日本経済新聞社共催シンポジウム　申込受付開始

日本経済新聞に「ふりさけ見れば」を連載中の直木賞作家・安部龍太郎さんと、『星落ちて、なお』で今年の直木賞を受賞されたばかりの澤田瞳子さんに、歴史小説の魅力を存分に語り合っていただきます。
視聴申込は以下のページから受け付けております。

▶http://www.mojikatsuji.or.jp/news/2021/09/01/4859/

▲申込・詳細

【主　　催】 日本経済新聞社、文字・活字文化推進機構
【配信日時】 2021年10月5日（火）　18：30～20：00（見逃し配信あり）

公益財団法人 文字・活字文化推進機構
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-2-30　共同ビル神保町4F
TEL 03-3511-7305　FAX 03-5211-7285　MAIL office@mojikatsuji.or.jp
http://www.mojikatsuji.or.jp/